

あの世への 遠路探して 道草を

北北東

五七五や一日を締め括る熊本地震からの十年日記の一端だ。前回は2024年10月22日だったので、その続きをここに記録しておこう。これを書き出している時、知り合いの名前がディスプレーで光り、声の主は旦那さんで「家内が24日心不全で突然なくなりました」。26日家族葬を済ませました」と氣落ちした声。長年の同僚でOB旅行会のメンバーの逝去を知らせる電話だった。旅の仲間では一番の長老だった。ついこの前にレンコンをいただいたばかりでお返しをと妻は考えていたのだが、生と死は隣り合わせにある。私もあの世へ向かう途上にあることを確信しながらなんとか遠巡りしながら、この文書を綴っている。

2024年10月23日

静かでも 滅却ドームの 普賢岳、すっかり田の前の山が火山というのを忘れている。

10月24日

政治家は 国民の「こと 考えぬ」危険でも60年以上の原発もOK ほんとかよ。コングリートの寿命50年なのにホント「やるの？」

10月25日

文化祭 様々工夫 知る機会、それが独自に追求するモノがあることは幸せなこと。

10月26日

”枯れ葉剤 人もその子も 枯れる毒” 俵山文化祭の午前中は板井八重子先生の「枯れ葉剤の旅、ドクさんの今」と題しての講演、沢山のスライドを駆使されて、枯れ葉剤汚染地帯の訪問記録をお話された。私の関心事はドクさんの最近のこと。1987年はまだ幼児で、ベトが脳炎後遺症でだらーんとして居た頃だった。2人の分離手術を受ける場に日本人としては中村梧郎さん一人立ち会われた。その時、あちらから手術の成功を伝えるメッセージが届いたことを覚えている。37年前のこと。長い間サポートしている中村梧郎さんつながりの広い世界を感じた

10月27日

”政治家は 金と世襲 お膳立て” 議員バッジを付けたが勝ちというのも腑に落ちない。これも国民の民意だから仕方ない。（のか？）と金の罰あたりの一部は落選・・まだ悪徳議員再選も。当選させたくない輩は比例代表復活で・・困ったなあ

10月28日

”西方の 夕陽の赤は 希望かも” 明日へ沈んだ太陽が翌日は反対から出て新しい朝をひき連れてやってくる

10月29日

”人見知り これが俺だと 居直れり” 生まれてこの方、社交性が乏しく、こんな会は苦手なのだとマイクの前で喋っている。この日KSN新入会歓迎会があつた。

10月30日

”太陽が あること忘れ 我が頭上”

10月31日

”バラバラと 分解される オスプレイ”・ 結局あちこちで欠陥が指摘されるのに日本は爆買いの中に入れている。大丈夫かい。

11月1日

”何もない 森の中にも 子らの声” 秋も遅いのに朝顔はいつまで咲くつもりなんだろう。山小屋に到着したら山行きの子ども達の声が久しぶりに聞こえて嬉しかった。それまでシーンとしていたので、ウリ坊か鹿しか居ない森に還っていたが、山行きが再開するといいなあ。その後小雨になつて下山したのか、子ども達の声が聞こえなくなつた。雨の中、関心領域は室内に。先週の文化祭でMさんから肥後手まりを終活ということとで頂戴したのでそれをギャラリーに展示した。



11月2日

あるはずが、無いと大声、遠慮無し、実はレジに入れた紙幣が消えて大騒ぎ。・確かに投入したのが無い！それって入れたつもりだろう、どこかに置いたままにしたのではって言われるが、・・持ち出した記憶はない。レジにあるに間違いないと、分解して底を取り出して奥を手探りしたらあつた！。

それも破れた紙幣一枚、完全な紙幣3枚を取り出した。一枚は完全に破れていた。紙幣押さえを乗り越えて奥へ送られたのだろう。紙幣押さえの上の隙間をなくさないと同じことが起こるので、一回」とに紙幣押さえの下にあることを確かめないと・・

11月3日

”秋むかご”普段は邪魔な、薦の子を”むかごご”飯最後の晚餐めざし、再び山道を目指す。今度は上へ歩いて行つた。なかなか見つからないが、日星をつけた場所で幾らかゲット！、帰つてから我が家用にムカゴ”ご”飯を炊いたのだった。

11月4日

”森の暮れ、あつという間に、真っ暗に”森の山小屋から17時30分車を出そうとする頃

は周囲は真っ暗闇。幸いヤブ蚊には襲われなくなつたけど、ひんやり秋の風が肌を刺す

11月5日

”紫の花ひら高貴 雑草で”

小川の実家の畠は秋といえ、まだ現役で草原状態。草刈りをテキトーにやつて、あとは唐芋に集中。唐芋の近くに変な花が咲いていた。豆類か？なん

だろう花弁の外は紫。検索ではハナウリクサと出るが、雑草とある。ネットには「わたしの花図鑑」（著者えいじーさん）にこの花の説明が詳しく書いてあった。花言葉は「ひらめき、愛嬌」だつて。雑草とは思えない奇麗な花である。雑草で”・・この雑草アゼトウガラシ科の花。東南アジア原産。こんな田舎までよつきなさつたなあ。別名夏董とか。



11月6日

”はかなぎは　夢や幻　みるおもひ　私が
行つた2018年冬にDMZを見学した際に、今にも
韓国との往来が始まリそうな駅もあつたが、北朝鮮に
よつて南北通じるが壊され溝を築き始めた。ケソン工
業地帯も今では幻に。

11月7日

”このサロン　過去振り返る　出逢いかな
”昨日のオンラインの水曜サロンではそれぞれに座右の銘が話さ
れた。・・よくよく自分のことに引きつけると「まあまあ」「テキテ
トーに」というのがお似合いな人生だった。ある方は「テキテ
キ」と同じ意味を仰ついた。「自分は自分、他人は他人」「過去
と自分は変えられないが自分と未来は変えられる」というのもあ
つて同感だ。故山口浩二さんがよく言つていた一期一會」もあつ
た。



11月8日　　”変わりなし　盛り土の山は　山の上” 我がAZULは森と青空が売
りー明日は午後から雨の予報だが、良い天気ならば外で絵手紙が描けるのだが、モデルはいっぱい
い薔薇に小菊。空の雲も、大木の幹もある。

11月10日

”我が遺作　展示するには　狭すぎる”

我が遺作はきっと宇宙いっぱいに広がるかなと夢を見る。今日はこの展示スペ
ース「中山清隆水彩画展」開催中の場所で絵手紙サークルの例会
があつた。みんな見事な絵を描いておられた。今の先生の前は中山
清隆さんが先生だったが、関東の娘さんの近くに引っ越しされ
て、名残を惜しむ仲間の人が開催している

11月11日

”晴れの日は　ウキウキしては　よか気持ち” 昨日

の雨の店仕舞いは大変だった。ジユクジユクした畠を掘つて、生
ゴミを埋めた。もう猪たちが掘り起こして食べてしまつただろうが。今朝になると天気回復。11
時から床屋さんへ



11月12日

”人の声 姿見えぬに 聞こえよる” 無線機というブラックボックスはスマホに変わり、ハム族は消えゆく運命か。

11月13日

”夕暮れは 我が人生の 黄昏か”

黄昏れる時間がまだ必要な十年かな。我が家家の断捨離（本棚）も進まないというのに・・すべていつかは読み終えるつもりで積んでいるのが。なかなか進まない。

11月14日

”棒であげ 風に吹かれた 干し物を”

のんびり一日が過ぎて我が家ダリアはまだかと屋根の上に眼をやると昨日干した我がズボンが瓦の上に一人ぼっち、日暮れ頃に21メガのアンテナ棒で取り上げたのである。ここで無線が役立った(=。)



11月15日

”リタイヤが 夢だったのに 墓らせない” 日々物価高は実感する。米も上がっている。

昔は梅干し、味噌、米があれば生きてゆけると思っていたが、梅も不作で、味噌は小麦の値上げなどで何でも上昇、円安で今日は156円/ドル。輸入物、燃料代コストは下がらない。なんて世の中だー・ブンブン(=。)

11月16日

うたた寝は この世の暮らし 霧の中”この世の暮らししなんてずっと霧の中。いつかは晴れるだろうと思っていのうちに寿命という時間切れ。明白なのは、はかない残り時間。

11月17日

もう枯れ葉 我が日常は 青いのに” 木々の葉っぱはまだ紅葉からほど遠い。一度冷え込んだら紅葉が始まることもある。全体の色づきはあと2週間後かな。



11月18日

”からいもは 実をつけ忘れ 空芋に” 今年もやつち
まつた(^^;) 植えた芋を掘りに・・ところが収穫はなんと！小
指よりも小さいサイズでがっかりだ。ます植え方から間違つてい
たようだ。畦も作らず深く反省(^^;) その芋を植える土地を耕
すために買った耕運機は1回で草が絡まり止まってしまった。勿
体ない買い物をしてしまった。以降使わずに。草取りもやらず、
まあ自業自得

11月19日

”おお寒い 70回目の 冬が来る” 逃げようにもどこ
も寒そうでじっとしている。雨でないので救われる。本格的に冬支度。架設だつた炬燵を常設に。
いよいよ我が家に冬がやってきつゝある。

11月20日

人生は あつという間に ひとひねり 何も考え無い日々が逆に考える日々になる。

11月21日

”冬になり もう五時半は 間の中”・・山も平地も午後5時半は真っ暗だ。

11月22日



”紅葉に また行こうよと 元談も” 日田市の紅葉は水俣から旧職場旅行に合流参加の
思い出も・・見事な紅葉だったなあ。

11月23日

”仕事なし 勤労感謝 してよかと?” 今週もお客様はなさそうなので自由気ままに
過ぎて”している。ぼーっと”しているので勤労という言葉は当てはまらないが・・勤労出来ることに
感謝する日だろうかな。

11月24日

”荒波は山を越えつつ吹く風に”。どちらを進もうかと思案する分かれ道が山道にもい
っぱいある。どうでもよいけど安樂な道があればそっちに流れようと思う弱い心が時々現れる。
それでも進んだからには一直線のつもりで歩き通さねば何も得る”ことが出来ない。何処にも困難
がある。だけどその日まで歩くしかない

11月25日

”いつまでも 同じ姿は 夢のこと”

11月26日

”雨風に 揺れる心は 不安定” そういうえば菊を育てるのが好きな方もあつたなあ。父
も庭に菊を植えていたし、昔の人は秋に向けて同じような趣味を持っていたのだろう。

11月27日

”雨の日に 温泉に入る 古希爺” 平山温泉恵荘。今日の温泉行きのメンバーは最長老94歳、90歳、88歳など、到底私には到達できない年齢の方々ばかり、その元気の良さにびっくり、あと6年で100歳とは・・私はあと30年先・・もうとも太刀打ちできない。

11月28日

”年寄りに 寒さ身近な 堀“たつ” 家を新築するとき炬燵の形に掘ったのだが未だに使うことはない。

11月29日

”地に崩れ 今か今かと 待つ親は”・・過疎の地で地震の怖いことは、頼れるのは自分しか居ないこと。その自分に助け出す体力も無く、津波や火災が迫つてくるときの悲惨なことは考えたくもない。

11月30日

家出猫 猫きびしく (外に) トイレなし”・・外でシッコを我慢して仕方なく家に帰つてきて猫用トイレでシャーとやつっていた。猫は人間に都合良いばかり。

12月1日

”すこしずつ ずぼらでもよし 手を抜いて
”真剣に考え過ぎたらいけない！まあテキト一
に！”

12月2日

”雲の上 いつも青空 ホントかな” 飛行機に乗るとしばらくは雲に囲まれるのだが少し上空に移動すると信じられない青空がぬつと現れる。例え地上では大雨の降るその上でも見事な青空が広がっているのだ。

12月3日

”凸凹は 水を注げば 平面に”

37年前のベトナムを思い出す。未舗装道路に雨（スコール）が降れば歩く場所を探りながら右往左往



12月4日

”若鳥は 飛び泳ぎ舞う アスリーム“



12月6日

”町の良や 断つる声 聞けばす“

▲レムニアスピーカーでたまには「八代聖紀の歌をひて」つかハイトやねもじつもと違ひAmazonMusic unlimited の案内が流れ契約しちゃかG・・ZOと断るつもりが、やけに電話がかかってき「キャワワーハンコ」ですか」ときかれてもそのタイハグド「せこ」と答えたものがかかる、自動的にAMANOZOとの契約が成立・・大慌てで電話を切つてamazonで履歴をみると既にAmazonMusic unlimited に契約されてしまつた。スマートスピーカーは「せこ」だけに反応し取つ消しにせり都合耳、聞く耳持たず。文明の器に要注意だ。

12月6日

”紅葉は 思い出ばかり 況かな夢“・・紅葉の中、駆け巡った青春時代が私にもあつた。思い出すのは冷たい雨が葉っぱから落ちるシーンとか、みぞれ混じりのシーンとか雑音ばかりのラジオのようなメモリーが。

12月7日

待ち時間 つぶす暇人 プロ仕様“

・・無線もあるし、散歩も、読書もありだ。きちんと曜日毎にブログラムが進むのは心地よい。1~2月は冬休みだからだらーんと週行す毎日になりそうだ。

12月8日

動けない 冬は嫌いだ 寒いけど

12月9日



怖い。用心しよう。

12月10日

”十二年に 出番は一回 長いモノ” 好き嫌いが多いニヨロニヨロが来年の干支・なんかありそなんだな。

12月11日

”年末は 日々慌ただしい カレンダー” 明日はHP & SNS会議、明後日(金)昼はサップさんの勉強会、夜はハムミーティングだ。



12月12日

”最近は 姿や声も オンライン”

今夜8時からはHP & SNS会議。こちらも軽い会議場、その殆どが近況報告。それでよいと思う。

使える技術をこき使つことが今生きるシニアにとって最善のことだろう。夜や寒さで動けない高齢者にとって孤独をなくす新しい文化なのかも。メールとは違い、口さえあれば好きなことが話せて、終わったらそのままベッドへ直行。バスに乗つたり、自転車に乗らなくても東京や海外の友人の顔が見える。

12月13日

”寒さゆえ 胃に注ぐのは 八海山” 紅葉も行きすぎて、枯れ葉散る。夜ご飯では八海山に燭をつけて、飲んで、ご主人様は、テレビを観ながら眠り込んでいる。寒い冬は日本酒が似合う。私も目がとろんとしてきた。午後8時、あと30分後のハムミーティングにちゃんと参加できるだろうか?

12月14日

”薪ストーブ 枯れ木眼突く 暖の為” · · 枯れ木集め（枝を折るとき眼を傷つけ、燃やす窓守も燃し煙も、眼を傷つける。山小屋の冬の暮らしは大変なこと

12月15日

”記憶には 動画がよいと 記録する” 爺の保存時間なんて僅かだろうが、捨ててしまうのは勿体ない。動画は息の強弱もはいり。周りの音も含めて季節がよく分かる。さわさわという枯葉の落ちる音はなかなか入らないが。

12月16日

”人相の 悪い総理の 不人気よ” 教育や福祉、医療より軍拡優先の政治が続く。//シリアルもうまく民主主義が機能するようになるとよいが。イスラエルのゴラン高原支配計画も困ったこと。

12月17日

”寒かばい 布団の中で 暖を取る”

12月18日

”忘年会 君も私も 久しぶり” 1年ぶりに会う仲間も居て、翌日の集まりに期待。

12月19日

”街中を 少し外れて 静か過ぎ” 脳やかなのは中心部だけ、あとは生活感たっぷりの住宅街が連なるいつもの風景に。

12月20日 ”さあ仕舞い 師走の寒さ

店じまい” 我がアノシは12月22日
(日) で今年は最後

12月21日

”あらまみた 裏に結論 添えるだけ” なんか良く分からぬが1時間後は寒い山小屋についた。帰路の風景は嵐だった。梶尾真治さんの

講演会に参加したのは初めて。私が読んだのは「ゆきすりエマノン」、「壱里島奇譚」「ダブルトーン」、アラミタマ奇譚だつたろうか・シヨートは6枚、最後のオチが大変とか、そんな1時間半別次元に居た。



12月22日

”袖ちぎり あと水始末(で) 最後なり” 山の師走の暮らしは体力勝負だ。カフェも

最後の営業日 最後といえば必ずやるべきこと。水抜き作業。家の中の水を出しておかないと零下になるとあちこちから水漏りに、水道パイプがやられていたのが思い出される。数年前から水抜きのアドバイスに従つて家中はもちろん、水道ポンプの水抜きもやって氷結に対処することにした。それ以降、室内の水道破裂とかパックイン断続とかでの水漏れは防止することが可能になった。・・12月末の水抜きは1度の環境下で、行つたり来たりの苦役作業である。でトータル歩数は8085歩。

12月23日

”また暮れる 一日一つ 歳取つて”

12月24日

”空を飛ぶ 夢を覗ながら 地を這つて”

いいよクリスマスが過ぎると来週は大晦日。

そして2025年へ突入だ!この夜は水俣OB会(オンライン)みんな同じ頃に青春を過ごしたあの町の職場の同僚、昔の面影も残しながらシニアとなつた今、それぞれの経年変化でちょっと戸惑つ。



12月25日

”サンタ去り 大晦日後は 歳を取り”何が良いのか分からない。”バカみたい 年末年始 振り回す”私も参戦しないと、と心を振り回す広告（おせち料理、三社詣出の旅とか）の多いこと。風呂に入つて炬燵に足を突っ込んでWEB日誌を書いている。ちょっと背中がけだるい気分、掘り炬燵なので足が温かいが頭が冷たい。パソコン打ちの姿勢はこんな感じだ。・次にやることは洗濯機に、風呂水を入れるようにと命令され、「主人様はとつとと一階に消えた。明日は26日といつ」とは・・あと1週間で正月になるのだ。あつという間の2025年へ。

12月26日

”レタス葉の ちぎる感覚 気持ち良し”最近はレタスにこいつている。手でちぎる感覚が気持ち良い料理するものならではの感覚だ。おつっぽん

12月27日

”師走末 右往左往と 逆走も”

12月28日

我が寝床 冬横たわる いつの間に”寒い時は布団に入るのが一番経済的。

12月29日

”飛び上がり 誰が指示する 鳥の群れ”

12月30日

”誰も来ず 我がWEB日誌は 灯火は”こんな風に人間風化するんだなあ。目出度し目出度し(ー)(ー)v

12月31日

”大晦日 怒り爆発 明日のため”正月というたつた1日のためにあちこちが賑やかだ。あと5時間で2025年 !! 我が仇 「正月めー」



2025年

1月1日

”民のため 口先ばかり 防衛費”・庶民が捨て置かれ誰かが潤う。昔はアメリカは軍事費で沈んだと批評されたがその後を日本が追う。

1月2日

”正月は 食べ飲み眠る ばかりなり” なんとつまらん習慣だらうか。

1月3日

”奇跡かな ななじゅういちは たなぼたの”誕生日お祝いのメッセージが沢山届く、LINEやFacebookにて。誕生日も返信に忙しくなった。あれまああれには書いてあれにはまだ書いてないとか。收拾がつかない。何が目出度いものやら分からない。

1月4日

”知らぬ間に 時間に追われ 日が暮れる”・右奥歯（の虫歯かな）が痛む。正月に大宮神社で「大吉」引いたのに・・・ホント引かなければよいのに「小吉」へ運気はダウンしたのかな？もう一回どこかで引いてアップを望むか。さらにダウンするか？

1月5日

”戦争は 終わりを知らず 48405”ガザ地区の死者の数ばかり増えてゆく！

1月6日

”今年まだ 花粉症は 無為鼻炎 (nūy blēn)、いまのところまだnūy blēn (とてもよかばい) 梅酒がうまいと思うようになつたのは、遠くの地で長女に娘が産まれた5年前だつたか。ご主人様は守りで残つていたので熊本に帰つて一人で留守を守つて居た頃。そろそろいかなと8月（5月末に漬けた梅酒）に解禁した。夏は氷水を入れ、冬はお湯で割つて飲み続けている。砂糖一杯でいかにも体に悪そうな酒である。それでもまあ5年以上飲み続けてるので、異常が出来来ないのが不思議。

1月7日

”アイデアは 浮かばず湧かず 腕を組む”ショートを書くのは難しい。

1月8日

春の夢 寒さ厳しい 嶪冬に”あまり思う浮かばず。そうやつて締め切り日はすぎてゆく。一日考えたが、課題のアイデアは途切れ途切れ、無駄な時間をつぶしたのだった。発想の転換に五〇年近く前の水俣の頃の画像をMさんのページでみたら、ボソボソの比べものにならない黒髪だった私ものそりと写っていた。

1月9日

”一口は、限りあることと忘れおり” 日々の積み重ね・・・薄っぺら 同じ厚さの 我が人生” それでもまっしぐらだ。(ーー)

1月10日

”寒さより 空腹満たす
野良猫よ、ぬくぬくとした飼い猫が野良猫だった頃の寒さを外の猫に感じのか。

1月11日

”年寄りの 夜学生だったあの頃は” 介護保険制度始動目前にして地域初めてのあの学部も30周年だった様子。四十歳、初めての一期生の学生自身が社会福祉士の実習先を開拓していたなあ。で、近所の特養でOK貰ったのだった。真摯に受け止めて下さったお二人、既に職場を去られており次の世代へ。（その30年前は）五時まで仕事、六時から学生、帰宅は10時半この生活を6年続けたとは・・・唯一自らを褒めたいことだろう。あの頃は毎日2時くらいまで宿題などやっていたし、院ではメーリングの管理にHP作成など続けていた。いつ寝てたのだろうか。（：）そのシケがこの白髪の虚弱爺さんに。



1月12日

A-I監視 気遣うばかり オンライン” / 昨晩オンラインで小川に暮らしたメンバーと余話・・それをちゃんと要約したレポートが終了後メールで送つてきて、内容を点検したら、ほぼ間違いがない。要約を共有も編集も出来るようで、会議報告には手間いらずかもしれないと思った。A-Iの恩恵 しかしこれはもしかしたら内容はそのまま検閲にいくのかも。それが怖い。（時代が変わって）万一政権批判しようものなら収監とか生死を伴うことになるかも。今日本でそんなことと思つても想像以上に監視社会が強まっている（実際に港湾・軍事拠点周囲在住者の思想調査などすでにやつているのではないか）安心安全と軽く表現された言葉の裏には管理される対象者が浮き上がっているはずだ。

1月13日

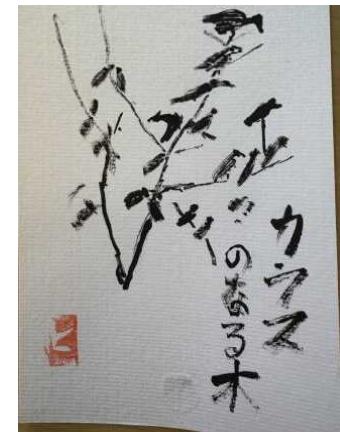
”誰も「ん NOOM会議 時過ぎる” 今宵8時からの会議に／最初2人だけで最後は6名に／それが終わつての9時19分突然携帯がなつて「地震くるぞ！－」と・・構えていたら10秒後に揺れ始めた。横搖れが強く震度4かなと予想。LINEで揺れたねとか電話もあつて大騒ぎした。バヌアツの法則の遅延版だったかな。

1月14日

”画伯まで 何年かかる 「の筆致” たぶん
200歳頃かな

1月15日

” 地震様 もう店仕舞い しないとね” と伝え
と。その後今朝2時にも日向灘震源の地震が震度3
で再びやつてきたとPCゲームに熱中のご主人様。「やつ
ぱり来たね」と全然知らずに寝ていた私



1月16日

” 時を超ゆ 話は遠く 繖も増え ” 字幕頼りの同僚もあり 私もそうだが・経年変化に
も驚く。 () () () 昨晩は元職場OBの9名で（横浜や鹿児島、佐賀、米国ワシントンD.C.など
からの参加）オンラインミーティング。40年ぶりとか30年ぶりとか20年ぶりの会話だ。
それをZOOM機能の「AIコンパニオン」を実験したが、素晴らしい要約を確認した。遠くに居
ても近くに感じる一時だった。科学技術の発展があつて一同集まれるのだから。なかなか素晴らしい
しい。()

1月17日

” 身も蓋も あるはずなのに そこが無い ” 難聴や耳鳴りから遠いと思っていたのに、
いつの間にかTVの声が聞こえにくくてボリュームが大きくなってきた。静かなはずがジーと言
う音が常時耳にある。

1月18日

” 1月は 慌ただしくて 落ち着かん ” ピックリ
したのは昨日の熊日新聞（スポーツ欄）。私はスポーツ欄が
大嫌いで普段わざとスルーするページに「画伯の娘さんの
記事。なんとこの南国熊本でスキー選手として頑張ってい
て今度の冬期国民スポーツ大会に参加するというその選手
宣誓している写真が載っていた。あのちびっ子が「ぎゃん
ふうに成長している。10年の時間を経て爺さんの目で眺
めた。 ()

1月19日



期刊 2025/01/17(金)

選手宣誓するスキーダイ回転少年女子の浦本
真帆(手前左、第二高)と旗手を務めるアイ
スホッケー少年男子の今村元紀(開新高)
=16日、熊本市中央区

” 形骸化 日本の不戦 軍事費が ” 憲法6条に異議申し立ての馬鹿野郎ども。あれほどの
戦争被害、原爆も落とされ殺され近隣侵略し殺した過去の反省もなく蘇る吸血野郎め！と綴る
としか思いつかない冬。

1月20日

”金口ん幹 貧乏人は つまはじき” お金持ちだけにお金が寄ってくる。貧乏人は物価高に苦しんでいるのに。世の中の様変わり・・円安ドル高も一因だが、人見知り猫があるので当面海外にもいけないので引き出しを掃除して出てきた予備の手持ちの紙幣を銀行で両替してきた。ドルへ交換したときのレートは95.74円で1ドルに換えた。

当時2009年8月)が今日は1ドルが151.08円とべふばつな1ドルの価値アップ55.34円↑と円安は日本全体の活力の低下の証明だろう。・・そのついでに別の取引のなくなった銀行で通帳を廃止して貯うことで余分な通帳の一掃という終活の一貫。これからボケてくるのもう少し身辺の掃除を進めておかねばと思うこの頃だ

1月21日

”あつ六時 早く夕飯 浩ませんと” 制限時間2時間。この日は宇土半島一周して・・17時頃無事に我が家に到着。留守番の猫のハナは二階から下りてきた。ハナを抱っこして庭を散歩したら、野良猫キジが裏ドアで夕ご飯の配給を待っていた。・・ご飯あげたがまだ不満の様子。裏の駐車場にカラスが咥えて運んだのだろう猫用ご飯皿を回収に金網を飛んだ。・・今宵8時からはWP学習会、12月から一月ぶり、みんな覚えているだろうか?。参加が心配だ。

1月22日

”空の下 米粒よりも 小さき我” 2019年

1月26日の12:53JST西区上空 川は白川らし

い。NZより帰国した関西空港から伊丹へ移動し熊本へ帰つてくる空の上からの風景、このずっと先に我が家がある。金峰山を迂回して空港へのルートの手前かな。あれから既に6年になる。思い出深いレンタカーの旅だった。人見知り猫のハナが居る限り、家を留守に出来なくなつたので、あの頃が最後の海外になるのだろうか。円安も重なるし先は分からぬ。

1月23日



”満喫の 自由の旅に 没頭し” あの頃はパンデミック直前、少しずれたらあの日は訪れず。2019年1月の二ユージランド レンタカーを借りて北島ドライブの旅



1月24日

”寒中に 野良猫騒ぎ 春近い”かも

1月25日

”阿蘇の山 白い噴煙 雪のよう”・・冬の寒さは来

週から再び。今は一服の春のよう。今日は風が強かつた。



1月26日

”やうだつた あの時のこと ノートで思つ

この十年に渡るWEB日記は、世界どこからでも参照できる。個人情報はなるべく控えたつもりがじややじや漏れも仕方ない。あの花はいつ咲いていたのか、文化祭では何があったかなど、とても貴重な情報として振り返ることができる。特に旅の経過を顧みるのは楽しいことだ。人生先だけを見なきやあつていうのだが、あの日を振り返って楽しむ材料もあると、未来も楽しいだろう。他人の日を気にするより、自分が楽しむべきだつ。

1月27日

羨まし 葉っぱがお金 たぬきさま”・狸は葉っぱをお金に変えて人を欺すが櫂の書く
ものお金に変わる。いいなあといつらやましがるのは (まあ いとおかし) (ゝ:)

1月28日

”超音波 今は我が身を 切り刻む”

特に朝から寒く6度から7度の一日、明日も更に寒いだろうとの予報だ。雪も降るかも。散歩の途上阿蘇の方を観ると真っ暗な雲が降りていた。

我が人生、いろんな巡りあいがあつた。今日も検査の途上で会話でMくんの近況を知つた。30年前から中村哲さんを慕う純粹な男の生き方を教えて呉れた彼も、今、ちょっと心配に。・人を中心とする立場ではないが、みんな病気で苦しんで欲しくない。//皆最後は天国(または地獄)にいくのだが、思ったことを一直線に。少しの希望さえ持てば・・いつのおみくじかはつきりしないがこんな言葉が書かれてあつた。「どんなに枯れた土からもやり方一つで芽が出て花が咲く。今自分の出来ることを考えなさい。花が咲くと信じたものだけが希望の芽を育てることができます。」また新書を送ってくれた長谷川櫂はその帯で「言葉は生き物であり、人類の体験を記憶する星雲のような記憶装置である」という。言葉は大事な指針なのだ。

エコーを終えて病院近くの喫茶店でモーニングを食べてのち、展覧会の案内が封書で届いていたので熊本城の近くの駐車場に停めて県立美術館別館へ。久しぶりに紅型作家 平井真人さん(写真)に会場で再会。今日明日滞在とあって、



丁度良かった。2007年12月以来の四方山話が。まだまだ元気で「これから青森で展示をするの」と。ちんすうのお土産まで頂いた。あれから随分時間経過があるので・・すーっと昔のままで相変わらず、お互い70過ぎの老人になつて・・それでもまだまだという気持ちが伝わってくる。

1月29日

宇土半島 一周するたび 蜜柑増え”森永

阜郎さんと（RKK）原敬博之アナウンサーが亡くなつた話題が半島一周中のラジオから流れて寂しいなあ。宇土マリーナから眺める雲仙普賢岳・雲の流れの合間に真っ白い雪が見える。随分昔ニユージーランド南島のマウントクックの小トレッキングに参加した時、その頂が見えなかつたのが一瞬の風で靄が綺麗に解消してその姿に感動したことがある。そ

の時のこと思い出しながら冷たい海風に吹かれながら雲が消える」ことを願つていた。意に反して、段々雲が山頂を隠しに降りてきたので帰り支度を始めた。



1月30日

”寒い中 灰燼の足は 熱すぎる” 駐心に還る。

1月31日

A.Iなんて 時々嘘を つくんだよ” 手抜きの人間差し置いて(。o。)

夕食後、梅酒をお湯割りして二階へ。20時半からハムZOOM=ーティングだ。その報告は最近ZOOM付属のAIコンパニオンがサマリーを作つて呉れるので殆ど時間を取らない。だが奴は時々間違えることがあるのでしつかり読まないといけない。今夜も一力所、間違いを送信後に発見。AIの仕事は疑つて掛からないといけない。（。;）なんて奴だ！

2月1日

”未完だが 書き物探し ドロップで”DropBoxの便利さ」「NTBという容量で、すべてのPCからのデータを一力所で管理していく。もちろん「KOSHIDA」など過去からずっと一貫保存。まだまだ余裕がある。

2月2日

”信じ込む　期待は希望　プラセボは”

今日の赤旗に面白い記事あり以下の如く「プラセボ効果」神経科学で解明理研・阪大チーム薬理効果のない「プラセボ偽薬」に対し、効果があると思い込む”だけで何らかの治療効果が得られる「プラセボ効果」のうち、痛みを抑制する「プラセボ鎮痛効果」について、その神経生物学的な実態を明らかにしたと、理化学研究所と大阪大学などの研究チームが発表しました。と
「プラセボ効果は古くから知られ、科学的にも実証されています。ただ、神経生物学的な実態が未解明であることから医療応用は制限されているといいます。研究チームは、前頭前皮質内側部の「ミューAOピオイド受容体」がプラセボ鎮痛効果に関わっているとした研究成果を先に進め、ラットを使った動物実験で「期待感」によって痛みが抑制されるメカニズムをつきとめました。治療効率の上昇、鎮痛薬の投与量削減による副作用の軽減などにつながると考えています。論文は1月15日、米科学誌『サイエンス・アドバンシズ』に掲載されました。」・とのことでもう少しが何をどう期待したのか研究者との意思疎通がなければ分からぬはずなのに私は疑問を持つのであつた。

2月3日

”古巣から　病院嫌いが　逃げ出した”　病院に勤務した39年・・最近は足を向けるのが嫌になつた。

2月4日

”赤鬼は　酒も飲まずに　疑われ”

その”おつまみの　豆を怖がる　節分日”・・なんて。10時からは友の会での繪手紙。季節柄この前終わつた節分の豆まきの絵

2月5日

”雪は降る　幼き冬の　思い出も。”



2月6日



”大雪と　脅されながら　普通の日”　肌寒いけど気象厅に心理操作をされ続けている。

2月7日

”寒いなあ　手先冷えずも　燻梅酒”　寒くてもそうでなくとも燻をつけたお酒なら冬は温まる、甘からうが辛からうが、どうでもよいこと。

2月8日

”成長は いつするのだか 思案中” 50年目のレジューム(resume) もう先はないといふのに。私は何をしているのだろう。方向も無く空回りをして、手近な道を歩いてゆく。私は何をしたいのだろう。全身から気が抜けて、そんな手で何を掴むというのだろう。変わらない心も、冴えない心も、幾つもの口を数え、私は一体何が出来るというのだろう。(水俣時代20代の頃の私だ)あの頃は・・何を考えていたのだろうと、それから50年後の男は思う。いつも変わつとらんばい。今も堂々空巡りの中

2月9日

”プリンター 一昔とは 別物に” 10年前とは別物になつちました。NEETにblue to othとかWIFIなれば設定出来 プリンターの調子が悪くて、何度も調整してもエラーばかり、頭にきて、十数年使つてきたプリンターをお払い箱にする覚悟が出来た。スキヤナードでも使えるならよいと思っていたが、プリンター機能に何かの障害があるだけですつとエラーが点灯。気の短い私だから、もうあんたは使わないと宣して古いプリンターに句読点。



2月10日

”寒さゆえ 手先口先 動かすに” X(poc)の脳はずつと休憩中。それも たぶん一生。

(^^) FACEBOOKでALISの方の映画が紹介されていた。私は35年前に折笠美秋氏の月刊『俳句』連載を読んでいた。まばたきを読んで、文字にする人あっての連載だったのだろう。本人は苦しい人生だったんだろう。ただその記録はずつと残っている(文学で残すのは大切)・ 第一句集『君なら蝶に』が有名。

2月11日 ”ぽつかりと 浮かぶ思いに 突き進み” 不知火道の駅で野菜と貝



と昼の弁当それも三百円台のを選んで購入。お茶も140円の自動販売機で。で次はみかん屋さんでみかんを2束千円。そこから三角港の宇城さんさん三角へ、不知火の味噌など買い足し。三角港の公園へ・・海に面した方向に車を正面から停止し、もくもくと昼飯(私はカツ丼)、「主人さまは海苔弁当を食う。リンゴのパンも半分」として食う。車を停めている時間内 港の見える範囲の釣り人の竿には一匹も魚掛からず。

2月12日

” 猫の手は 爺の睡眠 妨害す ”

” 眠いなあ 思い当たるは 猫の爪 ” 猫のハナの壁を擦る手で安眠を破り、一緒に遊べば・・我が薄い皮膚の手にその爪突き刺さり、一緒の運動のあとには血がしだたっており。猫を炬燵に埋めて昼寝でもしようか。

2月13日

” 声出せぬ アマチュア無線 狸耳 ”

友の会の10円ショップで購入した「携帯電話基地局の真実」を眺めていた。発行は2011年3月20日と古い。携帯基地局周囲への影響について、ある人は人類最後の公害という人もいる。携帯電話の利用周波数は700MHz帯域から28GHzまでを利用。この携帯基地局では24時間電波が発信され続ける。人体への影響がないという前提で設置されるのだが周囲とは軋轢を生んでいる。そういう私は57年來のアマチュア無線家。安全な電力だけなるべく無線は聞くだけに徹しようとすれば根性なしと言われるだろう。



2月14日

草刈りは 山羊に任せて 夢の中” そんな特権にありつけるといいのだが無理だろう。山羊の歓迎・・久しぶりに太陽光発電所の下草食いが仕事の山羊に会う。ぜひわが小川の草原にも出張して欲しいもの。



2月15日

” 運動と 猫と遊びて 爪の傷 ” 奴はいつも本気だから・・過剰防御で爺の手に爪傷をこしらえ血が吹き出る(｀・´)怒つても相も変わらず！

2月16日

” 不安なり 健康寿命 いつまでか ” もしかしたら “これまでかい。(`o`)

あと2週間で3月になるので、カフェをまた再開予定だが、大丈夫だろうか？昨日は夕刻より、ちょっと目眩がしたが、3月11日～12日は飛行機移動があるので、それまでに元氣でいたいもの。

2月17日

” チヤット爺 声が分からん キーボード ” 機械は容赦ない、聞き取れないを連発だ。(`、`) 最近昼間横になってしまふ。暖房費節約にもなるし、ラジオを聞きながら小説を読んで

いる。目が疲れるけど、この習慣は捨てがない。我慢して起きて疲れるよりは、よいのだろう。AMAZONのスマートスピーカー（アレクサ）に音楽を流してと要求も楽しい。声だけで命令出来るし、小声で言うと奴もふざけて小声になって応答する。遊び相手にはよい。老境に達した我々は機械相手の方がストレスは少なくて済むだろう。

2月18日

”古家は 冷たき空氣 淀んでる”

誰もいなくとも何かが留まっているのだろうか。人への思い、建物のあるべき姿も。居なくとも収まる風景がここにあるかも。思うモノだけが分かる。・



2月19日

”寒々と 繰り返される 空手形” 日本の未来を明るくするには原発廃止だ！

あの頃はもう原発には頼るまいと国民のみんなの心にあつたのが、14年も経てば既に形骸化し、燃料費が上昇する中、原発に頼るしかないという世論を庶民への普及形成。忘れやすい日本人を手玉にとって、原発政策をフル宣伝中。万一是起こらないなんてない嘘のこと。想定外がこの世の常なのに。さらに国防の原則はあえて脆弱な的を作らないことなのに、原発という（敵対国にとっての）致命的なを地震大国の日本中いっぱい作って再稼働も始めた。これは困ったことだ。怖いのは核燃料事故も・・・周囲の住民は大きな被害をうける。



2月20日

”さあやるか 思う」とだけ 空回り

／左耳が「口 口 口 口 口」と鳴っている、外耳に何か留まっているかな。今夜風呂でまた潜るか。迎え酒みたいにして(^ ^)

2月21日

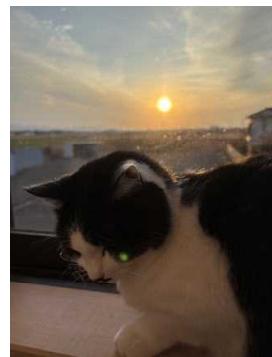
食材は いくつかあれば 1J 馳走に
” 大体いつもの朝食はこんなもの・・サラダ
にはドレッシングではなくて、白菜キムチを
上から載せる。それが結構美味しい。朝から
の豚汁も。デザートのカスピ海ヨーグルトは
365日欠かせない。果物がないときは蜂蜜を
かける。



2月22日

”微睡んで 夕暮れ早く 猫仕舞い”

ニヤンコの日の今日2月22日の夕陽と一緒に眺めた。FACEBOOKの記録を確認すると2021年に我が家メンバーになって今年で4年目。相変わらず朝早くから爺を起こして走り回る。運動させて」機嫌を取っている。猫との交流を続けて楽しんでいる。



2月23日

”足の裏 地球儀まわり 海の音” 飛行機の旅では座席前

に飛行中の位置が出て到着までの距離や、外気温などが表示される。海の上を飛んでいる時の感覚。10年前の今日はトルコに居た。トロイの木馬に登つたりした。還暦退職の時はヨーロッパの旅・現役時代と違つて時間には左右されず、あちこちへ行くはずだったが、コロナ以降、若猫が来てから旅へはいけず、仕方なく過去をFACEBOOKで振り返る。



2月24日

”何かする。思うだけでも日々過ぎる。”窓に座つて外を眺める猫のハナ。よく人間の動向を観察している。玄関をうつかり開けると逃走するので、後ろを振りかえりながら閉じないと少しの隙間を抜けて全速で逃げ出してしまう。帰ってくるまではどこかのドアを開け放しになるので寒くて堪らない。で今日もベランダの洗濯物取り入れ時に瓦に飛び移り、数メートルの散歩を楽しんだ様子。そういえば来週のオンライン水曜サロンで「ペットの話題」をテーマで予定・・そろそろ♪♪しなければ。

2月25日

”ポメロンは一年越しの約束に”ああ。ポメロンのため息。・・日々楽しいことを考えよう!あとで修正「ポメロ」が正しいと友に伝えた。

2月26日

”春よ春 楽しいはなし どこにある”

2月27日

”もう弥生 もじもじとして 我迷い”

2月28日

”猫の氣もヒトの氣もちも 変わらない”

お互いを心配しながら暮らしている。縁とは不思議。元野良猫ハナは小さな時に母親に連れられてきた。最近までその母猫は裏口にご飯を貰いにやって来ていたがこの数ヶ月目にしない。ハナは既に母の大きさを超えて立派な成人猫になった。それでも毎日甘えている。階段降りても左右ジグザクに歩いて進路妨害する。ちゃんと分かつて壁コシゴシも・・起きろ・起きなければ壁を削ぐぞって調子だ。脅し方もちゃんと備えている。毎日夜の炬燵アーブルの上で運動も継続中。人間のやることをじっと眺めているハナである。

3月1日

”正義とは 勝ち負けなのか 戦結め”

トランプしとゼレンスキーさんの会談決裂のニュース、資源を当てにしたアメリカ・戦争まで資源交渉の材料にするとは・・一年前のアメリカと比べても、なんか分からぬなあ。どちらにしても日本の終戦と重なつて粘つても犠牲ばかりが増えるような・・それでも侵略者が悪いのに決まっているのだが、正義が正義でなく正気が狂気に異常に展開しつつあるウクライナ戦争だ。



3月2日

”春の雨 梅干しの花 赤く咲ぐ”



3月3日

”かぐや姫 お月様へは 何で行く”

南区役所からの帰りに銀行に用事があつて城南へ、
その駐車場からある局長さんの自宅があつて・・最近EM
E (Earth-Moon-Earth) 通信をされている様子、その空
に向かつたスタックアンテナを眺めた。FT8にEME通信・・最先端シニアの局長さんだ。こ
そりパチリ。月面に電波を反射させて海外と交信するなんて凄いぞ。その往復77万km!
少し後輩の私が既に無線への情熱が遠ざかりつつあるのは・・まだいかんだろうと反省。趣味は
前向きにいかないと。

3月4日

”雨の中 飛び出した猫 玄関に” やっぱり濡れるの嫌だからすぐに帰宅のハナだっ
た。晴れた日には帰ることも忘れるのに。

3月5日

”啓蟬に スッキリしない 胃袋は”

3月6日

”仕方ない 学んでも抜ける ザル頭” *ロシア語もスペイン語もハングルも学んだつ
もりがサッパリ身につかず。本気になつたことがない。遊びの無線も中途半端に終わってしまつ
たような。人生中途半端ばかり。(・_・)ああむなしいかな 悲しいかな。*言葉でなくて文字を習
つただけのこと。

3月7日

”風前の 灯火伸びれ ハナ思い” ・野良猫にはしたくない。何の終活もしていないけ
ど、あとは知らん、よきに計られでよいのかな(・_・) 南区役所に樹木当選して受け取りに行
つたついでにハースポートの更新手続きをした。まだ今年10月まであつたが、・・最初は10年
にチェック、よく考えたら絶対無理、そのことをご主人様に話すとそりや5年よ、五年も危ない
よつてアドバイスされた、喜んでよいのか怒らなければならないのや。」主人様の言うことが
客観的に正しい。ああ・・いよいよ灯火も短くなつたなあ。

3月8日

”あれも駄目　「れもあかんぞ　老朽化”・
・国も個人も。

3月9日

”鼻垂れて　嚏とあひす　眼は霞む”

金曜日からずつと花粉症酷く、くしゃみが止まらず相変わらずの鼻垂れ小僧で過る。す。あつら毎日が始まった。今年は症状が遅くに開始。あさってからの奈良行きが途上の心配、周囲に迷惑かけないかが・・ハーツクショーン！。周囲で体調が悪くなっている人が多い。入院した人も、これから手術する人も居て、困った」とだ。



3月10日

3月10日

”ふくよつと　暗い雲より　沈みこむ”春なのに心は弾まない。

明日11日09：15熊本空港発。家を出るのは7時早めに！帰っは12日の夜になる。花粉症爺さんが眼をこすり、鼻水を垂れて咳き込みながらの一泊二日の旅になる。

3月11日

”五十年　若者の我　爺となり”大阪の二十代二畳の部屋があつた所へ舞い戻った。

奈良の姉と和風レストランにて再会。骨折も治りちゃんと杖を頼つて歩いている姿をみて安心。食後マンション11Fの自宅へみんなでお邪魔して3時間ほど会話。帰りは手を振つて送り出してくれた。また一人ぼっちになつて寂しいだろう。（まるで我が母のそのままを繰り返している）。

・天六まで送つてもいい、大衆酒場さんまにて兄と飲む。二畳のアパート跡も突き止めた（建て替え済 左写真）・・銭湯は駐車場になつていた。

50年昔の学生時代暮らした天六界隈、今もなお賑やかだ。ROTA105を検索で予約して一泊。二畳の間とは150kmくらいの場所とは偶然だった。



3月12日

”知らぬことと 爺になつても 底みえぬ”

身近な場所でも知らないことばかり。気づかせてくれる機会が大事。神戸の娘夫婦と落ち合って、まずは「白鶴酒造資料館」へ。酒造りがずっと展示され最終には試飲コーナーも。それから神戸の中華街へ出て昼食。そこから神戸タワーへ移動した。頂上から展望。高いところが好きだが、雷雲が来たら屋上は遠慮したい。大きな魚のモニュメントもあって大きな網のような構造物と組み合わせると面白い話になるかもと想像♪Facebookに二つの組写真をアップした。刺身が千人分取れそうな大魚だ。・・あとはチーズケーキとホット珈琲の組み合わせの一服。天気はなんとか持ってくれた。16時半過ぎには伊丹空港着、バイバイしてすぐに検査場へ入場し21番待ち合いへ急ぐ。熊本には18時40分には到着した。旅はお蔭でウロウロすることもなく、すべて順調にいった。神様の思し召しとしよう。



さんじ ついで予定

2025年4月5日

北北東